

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年 4月 25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673900108
法人名	医療法人 トウスイ会
事業所名	グループホーム みのり園
所在地	鹿児島県薩摩郡さつま町宮之城屋地1358-2 (電話) 0996-52-0122
自己評価作成日	平成26年 1月 20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成26年2月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

町の中心部に母体病院と隣接してホームが設置されており利用者様は診療や機能訓練など無理なく受ける事が出来る。
職員は基本理念を毎朝復唱し、利用者様の尊厳を守るケアを目標に取り組んでいる。
生活を営んでいくために必要な作業、例えば掃除や洗濯物たたみなどを皆で共に行い、持てる力を活かすことで利用者様の自信や生き甲斐に繋がっている。
外門や玄関を開放しており、いつでもご家族や友人、知人が立ち寄り易い様環境を整えている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

◎さつま町の中心部の国道沿いに面した母体病院に隣接して建てられ、近くには、運動公園や中学校がある。玄関入り口にはスロープがあり、車イスで楽に出入り出来るよう工夫され、共用空間は、木をふんだんに使用した木目調の作りで、加湿器や空調管理システムにて快適な施設環境を提供している。建物横にウッドデッキが完備されて、庭の季節の花々を眺めながらお茶飲みや日光浴が出来る。家庭菜園もあり野菜の栽培・収穫を楽しんでいる。

◎地域ケア会議や夏祭りへの参加、高齢者クラブや保育園児との交流、消防団や地域の方々の見守り支援等、地域との交流が日常的に図られている。

◎母体病院と隣接している為、急変時や緊急時の素早い対応や適切なりハビリが受けられ、利用者・家族の健康面における大きな安心感に繋がっている。また、他科受診についても町の中心部に位置している為、定期受診がしやすく、医療連携も図りやすい。

◎事業所理念の中に「プライバシーの尊厳」があり、日常生活支援での課題について、ケア会議や職員会議等で検討し、声かけや支援方法等の業務改善を常に図りながら、利用者へのサービス提供に取り組んでいる。また、毎年度、施設目標をユニット毎に掲げ、具体的な実践に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念をもっとうに一人ひとりが把握しサービスに貢献出来る様に職員全員で頑張っている	基本理念を掲示して、朝礼時に唱和を行い理解に努めている。また毎年度、理念に基づいた年度目標をユニット別に作成してケア会議や職員会議等にて理念の確認を行い意識づけする事で、常に理念を共有して実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域とのつながりを常に考え慰問などを受け入れたり、子供会とのふれあいなど接触的に行っている	地域の子供会や文化祭、高齢者クラブからの慰問、駅伝の応援、夏祭りの参加や保育園児との交流等、事業所自体が地域の一員として日常的に交流を図っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	面会に来られたご家族や親戚、運営推進会議の中で認知症の方との行動など知って頂く機会を作り、支援のお願いをしている	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では細やかな状況報告を行い多種方面の方々より意見を頂いている また頂いた意見は職員会議に下ろし話し合いのもとより良いサービスが提供出来る様努めている	会議はさつま町役場、民生委員、高齢者クラブ、公民館長、消防署、警察等、多職種の参加を得て定期的を開催している。事業所の現状報告を行い、得られた参考意見や要望等については、ユニット会議や職員会議等で対応を話し合い、業務改善やサービスの向上に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域ケア会議に参加し、市町村介護保険担当者及び包括支援センターとは常に連携をとり、サービス向上に努めている	行政の担当者には運営推進会議に出席して頂くとともに、行政主体の地域ケア会議への参加や介護保険申請等、日頃から連携を図っている。困難事例等の相談に対して、問題解決に向けて指導、介入、対応して頂くなど協力支援体制も構築されている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員を設け身体拘束会議の実施、身体拘束が行われていないかをチェックしている。また、職員会議で話し合いの場を設け全ての職員が周知するよう努めている	身体拘束委員会を設置し、マニュアルを整備して各種会議や施設内研修等を繰り返し行う事で、車椅子抑制、ベット抑制、言葉による拘束や玄関の施錠を含めた身体拘束をしないケアについて事業所職員全員が正しく理解しており、事案があれば迅速に改善を図っている。また、地域住民とは外出傾向のある利用者への声かけ等の協力体制も整備されている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束委員が職員会議の時、議題に設けたり、新聞やテレビ等で報道された内容などを話しあっている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利に関する制度については管理者や職員は概ね理解している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ご家族の疑問や不安に十分説明を行っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご家族の面会時には会話の機会を設け、意見・要望などを聞き、運営に反映されるようにしている	日常生活支援の際や面会、電話連絡のほか、敬老会時の家族会や各種の行事、また意見箱の設置等、運営に関する利用者や家族からの意見や要望を、いつでも聞き取れる機会を設けている。得られた意見や提案は、会議等で検討し業務改善に努めている。また、外部者へは4ヶ月に1回、みのり園便りを送るとともに、利用者個々の担当者より個別に、1ヶ月に1回、現状報告をする等の対応を図っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月行う職員会議や業務時でも聞く場を設けている	朝礼やケア会議、職員会議等、運営に関する職員からの意見や提案について聞く機会を多く設けている。また、個別相談についても迅速に対応する等、職員が気軽に話せる職場環境作りにも努め、内容等を精査し、出来る限り事業運営に反映出来るよう取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	出来る限り、職場環境や条件の整備に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>病院との連携を保ち定期的に実施される勉強会に参加し、園での報告勉強会を実施している</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>相互訪問などの活動はないが、管理者間での情報交換はあり、参考になっている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>初回面談時、ご本人とゆっくり話を聞く場を設けている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所申請時などで信頼関係が持てるように話し合いを設けている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人とご家族の実情に応じ、他グループホームやサービスの紹介を行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>毎日を本人様が楽しく、家庭的雰囲気の中で過ごせるように心がけている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月、ご家族へ近況報告をかねた写真入りの手紙を送ったり、行事などがある時は連絡を取り参加していただける様にし、協力しあえる関係に努めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族・友人・知人の方の面会や、外出・一時帰宅の支援を行い関係が途切れない様努めている	入所前のアセスメントやインテークにて得られた生活歴より、なじみのある関係者や場所へのリサーチを行い、関係継続の支援に努めている。具体的には家族との外出や一時帰宅・墓参り、知人・友人・地域の方々の来訪時のお手伝い等、社会とのつながりをいつでも確認出来るように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お互いの関係が上手くいくような雰囲気作りやテーブルの席の配置の工夫、役目などを決め職員が橋渡しをしている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後であってもお見舞いに行ったり、行事がある時は見に来て頂けるよう声をかけ、関係を継続している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	お茶時など、ゆっくりとある時、ご本人に希望を尋ねている 入所時、ご本人・ご家族の希望を把握しできるだけ希望に添える様心がけている	日頃の暮らしの中で利用者個々の思いや意向を表情やしぐさ、言動等から把握に努め、時には御家族の協力も頂いて対応に取り組んでいる。また、意思疎通困難者に対しても、職員は連携して可能な限り把握に努め、本人本位の対応となるよう配慮している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時、面会時などご家族や親戚の方から生活暦を聞き出し、把握に努めている			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	24時間の記録、申し送りで把握している			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者個々に担当者を設け、ご家族や民生委員と連携を図りながら現状に即した介護計画を作成している	利用者及び家族の希望や意向に沿えるよう、管理者や個々の担当職員をはじめとして医師や看護師・民生委員等の多職種でチームとなり、様々な助言・指導・指示・意見交換を通じて、総合的に利用者の現在の身体状況に即した介護計画を作成出来るよう取り組んでいる。計画に沿って日々のケアを実践し、定期的なモニタリングで必要に応じて見直し修正して、可能な限りベストのケアが提供できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録等を活用しながら朝礼や申し送り等で情報を共有しながらケアプラン会議で話し合い、実践や介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人のニーズを尊重出来る様支援に努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員、ボランティア、消防、警察、公民会など当園への協力を頂きながらご本人が安全で豊かな暮らしを楽しむことができる支援をしている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	園の運営主体が病院の為に安心して医療が受けられる 歯科・眼科・皮膚科・精神科もご本人・ご家族の要望に添う支援を行っている	利用者、家族の希望する、かかりつけ医への病院受診支援を行い、緊急時は、隣接する母体病院への受診対応も可能である。また、歯科（往診あり）、眼科、皮膚科、精神科等の他科受診支援の対応も行っており、医療機関との医療連携を看護スタッフが現場スタッフへの確に申し送る事で、安全で適切な医療を受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>利用者の健康状態を常に把握し情報や気づきを自分だけのものにしないように伝える事により良い支援を受けられるよう努力している</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者のこれまでの症状や変化を詳しく記録し情報交換や相談する事で利用者が安心して早期に退院出来るよう努めている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時に重度化や終末期にご本人・ご家族の意向を尊重出来るよう早い段階から話し合いを行っている 事業所で出来る事なども説明した上で納得を頂いている</p>	<p>入居時に利用者、家族に対し、重度化や終末期に向けた事業所方針について説明し、同意を得てサービス提供に努めている。利用者、家族の希望や意向を踏まえた上で、身体状況に応じ、かかりつけ医との医療連携を図りながら、事業所で出来るサービス支援について、職員はもとより、地域の関係者と共にチームで共有化を図りながら、安心・安全な支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的な避難訓練の中で消防職員の立ち合いの下、応急手当や初期対応の訓練を実施している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議の中で災害対策を議題に十分に話し合っている 定期的な避難訓練の中で地域の方の協力を頂きながら訓練も行っている	年2回の夜間想定も踏まえた避難訓練を実施し、全職員が災害時の避難、誘導、消火、連絡等の方法を身につけるとともに、地域の消防団や母体病院からの協力支援体制の整備も構築されている事で、より安全なサービス提供が出来る。スプリンクラーや自動通報装置の設置や災害時の備蓄も確保されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの尊厳を園の理念に掲げ、ケア会議では個々に合った声かけや関わり方を話し合い利用者の人格を損ねる事のないように心がけて対応している	事業所理念の中に「プライバシーの尊厳」が謳われている。利用者の人格や人権を尊重し、自尊心やプライバシーを傷つけない声かけやサービス提供のために、接遇研修や個人情報保護についての勉強会等も行っている。ケア会議、職員会議等で日常生活支援時の課題について検討して業務改善を図る等、常に利用者の立場に配慮できるような支援を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で利用者の思いや希望を表現出来るよう声かけ、自己決定出来るよう働きかけをしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の訴えを尊重しその日をどのように過ごしたいか実現出来る様に支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その人の好みを伺い、その人らしいおしゃれや身だしなみが出る様支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事前のテーブル拭き、材料の皮むきやお茶入れ、準備等出来る力を活かしながら行っている楽しく食事が出来るよう食前の体操や雰囲気作りに心がけている	職員と食事を一緒に摂ったり、個々の能力に応じて下ごしらえや下膳を手伝って頂くなど、楽しく食事が出来る雰囲気作りに努めている。家庭菜園で採れた野菜や旬の野菜を使い、好みに合わせ食事形態にも配慮した献立で、時には、刺身やお弁当を提供する等、食事を飽きさせず、興味や関心をもってもらえるような支援にも取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事、水分摂取量のチェックを行いながらその人の状態や力、習慣に応じた支援を行っている</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後の口腔ケアの声かけを行い夜間は洗浄剤を使用し清潔を保っている</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄の自立困難な方であっても排泄パターンを把握して声かけを実施し出来る限りトイレでの排泄が出来る様支援している</p>	<p>排泄パターンや生活リズムに合わせた排泄介助に努めることで、オムツ使用の軽減を図りながら、トイレ誘導にて自立した排泄支援が提供出来るよう取り組んでいる。トイレへの声かけ、失禁した利用者へのフォロー等、自尊心やプライバシー保護についても留意しながらケアを提供しており、ポータブルトイレの設置や記録物については、人目にふれないよう配慮している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>便秘の原因や影響を理解しながらその人の日常の行動を見守っている また、便秘予防の為に牛乳やヨーグルトを毎日摂取して頂いている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	業務の流れで入浴の時間帯はほぼ決まっているが、個々の都合に応じた支援をしている 拒否の場合は無理せず時間を空けるなどタイミングを見て声かけする様努めている	入浴日は決めず、個人の希望に合わせた入浴時間にて支援している。入浴拒否の利用者は時間変更にて対応し、入浴出来るよう努め、ゆず湯等で温泉での入浴を楽しむことができるように工夫もしている。また、身体状況に合わせ、清拭やシャワー浴に変更したり、皮膚状態の把握にも努めながら安全に入浴出来るよう取り組んでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室の環境を整え、自分の部屋であるという認識のもと安心して昼寝や休息が取れるよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院、薬局の指示のもと、服薬の支援をしている 症状の変化が見られる時などはすぐ連絡を取り指示を仰いでいる		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の力を活かした役割分担や趣味を継続出来る支援をしている 例えば調理、下膳配膳、掃除、裁縫、洗濯物干しや畳み、花生け、塗り絵、歌、草取り、散歩等		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	個々の体調に合わせた散歩やドライブ、買い物等の支援をしている 定期的な行事の中にも遠方への外出を計画に取り入れている またご家族へ相談しながら一緒に墓参りや帰宅の支援をしている	散歩やドライブ、買い物外出、墓参り、病院受診、遠足によるお弁当持参での遠出等、家族や地域住民の協力を得ながら、日常的に外出支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>財布は所持していないが、一人ひとりの希望や力に応じて使えるように支援している</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話がかかってきた時はできるだけご本人が相手方と会話出来るように支援している また、手紙の投函の支援を行っている</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎日の掃除等で清潔な環境作りを心掛けている また季節毎の飾り付けを施し季節を感じられる工夫をしている 空調や音楽などの音量も時間帯をみて調整している</p>	<p>共用空間は、木をふんだんに使った温かい作りで、ソファやウッドデッキにより、くつろいだり、日光浴やお茶飲みがゆったりと出来る心地よい環境になっている。また、加湿器や空調管理システムにて快適に過ごせるような配慮とともに、季節の飾り付けや色紙で作られた作品等多数掲示されて季節感や生活観が感じられ、不快となる刺激も殆どなく、居心地よく過ごせるように工夫している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングやダイニングの利用が自由に出来る様に配慮している また、共同空間の中で趣味やしたいことを思い思いに出来る居場所作りの工夫をしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた私物やご家族の写真等をレイアウトし個性的な居室で気持ち良く生活出来る様支援している	居室内は新緑の新しい畳が敷かれ、広々とした空間になっている。個人の使い慣れた物を持ち込んでいただき、個人のレイアウトにより写真や飾り、作品が置かれて自宅と同じように居心地よく過ごせるような居室の配慮、工夫が見られる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各所に手摺りをつけ車椅子でも自力でトイレが出来る様、また浴室も安全に利用出来る様配慮している 居室やトイレ等は解りやすい様表示し混乱しない様配慮している		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	基本理念1～5を毎朝一つ朝礼で言い、理念の共有を実践している		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	公民会活動で子供会の七夕作りなど、定期的な行事も定着して行っている		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	面会に来られたご家族や親戚、運営推進会議の中で認知症の方との行動など知って頂く機会を作り、支援のお願いをしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で細かな状況報告を行い、参加された方に意見を頂いている また頂いた意見は職員会議で話し合っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域ケア会議の参加や、市町村担当者に運営推進会議に参加して頂いている		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員を設け身体拘束会議の実施、身体拘束が行われていないかをチェックしている。また、職員会議で話し合いの場を設け全ての職員が周知するよう努めている		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	身体拘束委員が職員会議の時、議題に設けたり、新聞やテレビ等で報道された内容などを話しあっている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利に関する制度については管理者や職員は概ね理解している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ご利用者、またそのご家族の疑問点や不安材料を何でも尋ねていただき、納得いただけるまで説明に心がけている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関入り口に意見等の受付箱を設けている。面会の際の意見、要望は記録し管理者や全職員が周知出来る様にしている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	朝礼時や職員会議等での意見を集約し管理者が主任会議で取り上げている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	運営上、出来る限りの条件整備に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者研修、消防に関する研修、身体拘束についての勉強会、また病院で実施される勉強会への参加（感染対策、事故防止等）に取り組んでいる。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者間での情報交換はなされているがネットワーク作り等を行っていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回面談時、ご本人とゆっくり話を聞く場を設けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所申請時などで信頼関係が持てるように話し合いを設けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人とご家族の実情に応じ、他グループホームやサービスの紹介を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家庭的雰囲気毎日の生活を共に行えるよう心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月、ご家族へ近況報告をかねて写真入りの手紙を送り協力しあえる関係作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	年賀状を出したり、お墓参りや一時帰宅の支援を行っている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者同士の関係がうまく行くような雰囲気作りやテーブルの席の配置を工夫しトラブルが生じないよう環境を整えている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後であってもお見舞いに行っている。また、ご家族と今後のことを話し合っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人のこれまでの人生を、ご本人・ご家族・友人・知人等から聞き取りし把握出来る様努めている 困難な場合でもご本人の発する言動の中から探り出せる様努めている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時、これまでの生活歴や状況をご本人・ご家族・友人・知人等から聞いたり、利用していた施設や病院からの情報をもとに把握するよう努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	24時間の記録、申し送り把握している		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご利用者個々に担当者を設け、ご家族や民生委員と連携を図りながら現状に即した介護計画を作成している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録等を活用しながら朝礼や申し送り等で情報を共有しながらケアプラン会議で話し合い、実践や介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれたいニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人のニーズを尊重出来る様支援に努めている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員、ボランティア、公民会、消防、図書館など当園への協力を頂きながらご本人が豊かに生活出来る様支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時にご本人・ご家族と話し合い納得のもと安心して医療が受けられる体制にしている 歯科、眼科は必要がある場合付き添い受診している 精神科はご家族が対応している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常に連携を取りながら健康管理面に配慮している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院関係者とのきめ細かい連携が出来る様、関係作りに気を配っている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	初回面談時、重度化や看取りについてご本人・ご家族の意向を尊重出来る様十分話し合っている。また事業所で出来る事等も説明した上で納得を頂いている。地域の関係者では主に民生委員の方と協働している		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な避難訓練の中で消防職員の立ち合いの下、応急手当や初期対応の訓練を実施している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議の中で災害対策を議題に十分に話し合っている 定期的な避難訓練の中で地域の方の協力を頂きながら訓練も行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの尊厳を園の理念に掲げ、職員研修や個々の学習を行い対応している		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の自己決定を重視し穏やかに過ごせる様に環境に気を配っている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の訴えを尊重し出来るだけ実現出来る様に支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その人の好みを伺い、その人らしいおしゃれや身だしなみ出来る様支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事前のテーブルセッティング等、声かけし楽しく食事が出来る様に食事前の体操やその場の雰囲気作りに気を配っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分摂取量のチェックを行いながらその人の状態や力、習慣に応じた支援を行っている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアの声かけを行い出来ているか確認している 義歯の場合は定期的に洗浄剤を使用し口腔内を清潔に保っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の自立困難な方であっても排泄時間を記録して声かけを実施し、出来る限りトイレでの排泄が出来る様支援している		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の排便状態を確認し水分や便通を良くする食品を多く摂取出来る様配慮している(予防として毎日乳製品を出している) また、出来るだけ身体を動かして頂く為、体操やレクへの参加を促している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴の時間帯はほぼ決まっているが、個々の都合や体調に合わせて午前浴も実施している		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室の環境を整え、ご自分の部屋であるという認識のもと安心して昼寝や休息が取れる様支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院、薬局の指示のもと、服薬の支援をしている 症状の変化が見られる時などはすぐ連絡を取り指示を仰いでいる		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の力を活かした役割分担や趣味を継続出来る支援をしている 例えば調理、下膳配膳、掃除、裁縫、洗濯物干しや畳み、花生け、塗り絵、歌、草取り、散歩等		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	個々の体調に合わせた散歩やドライブ、買い物等の支援をしている 定期的な行事の中にも遠方への外出を計画に取り入れている またご家族へ相談しながら一緒に墓参りや帰宅の支援をしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>財布は所持していないが、一人ひとりの希望や力に応じて使えるように支援している</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話がかかってきたときは、ご本人自らが会話出来る様に支援している また毎年年賀状を出したり、海外の親戚への手紙を出す支援をしている</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎日の掃除等で清潔な環境作りを心掛けている また季節毎の飾り付けを施している 空調や音楽などの音量も時間帯をみて調整している</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テーブル配置の工夫でリビングダイニングの利用が自由に出来る様配慮している また玄関脇やベランダ等に椅子を設置し独りになれる場所を作っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた私物やご家族の写真等をレイアウトし個性的な居室で気持ち良く生活出来る様支援している</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>各所に手摺りをつけ車椅子でも自力でトイレが出来る様、また浴室も安全に利用出来る様配慮している 居室やトイレ等は解りやすい様表示し混乱しない様配慮している</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない